

# 法華寺だより



間野 亨さんの壁画  
一対の飛天



写真は天井画の一部  
大澤真琴さんの作品  
蓮の花やインド菩提樹など  
沢山の花が描かれています



## 如

来寿命品の中に、仏様達のいる天上界の様子を語っている場面があります。そこでは、木々には美しい花が咲き、果実がたわわに実り・・・天人たちは鼓を打ち鳴らして、  
・白い蓮華の花を仏や人々の上に降らせませす。  
[天女]は、神さまや仏さまと同じく天界に住む女性の天人とされています。天女は、羽衣をヒラヒラさせて空を飛ぶので飛天とも言われます。  
飛天は、仏さまのはたらきを喜んで、天の音楽を演奏し、天の華を降らせ、天の香を振りまいて浄土を飛び回ります。日本では、天人に限らず、菩薩でも空を飛ぶ者は飛天と呼ぶそうです。

「やさしい仏教入門」参照



## 行学院日朝上人会

日朝上人は、室町時代のし  
て代表的な教学者で身延山久遠  
寺の中興の祖として多大な業績  
を残されました。

八歳の時剃髪得度、以来研鑽  
に励みわずか四十一歳で久遠寺  
の法灯を継ぎ、以後三十八年間  
にわたって貫首を務め今日に伝  
わる業績を上げられました。そ  
の間失明の危機に見舞われるも  
強靱な信仰心も相まってこれを  
克服。このため眼病を初めとす  
る闘病平癒を祈願する信者も多  
い。  
当山の日朝上人像は大正時代  
に信徒から寄進されたもの。

## ご案内

七月

十三日 行学院日朝上人会十時

八月

十八日 孟蘭盆会施餓鬼法要

### ☆ 役割の終えた 仏壇仏具等の ☆

御炊きあげを致します

お寺までご連絡下さい  
0155・23・4033

今月の聖語

総じて

いんがし もの

因果を知らぬ者を

邪見と申すなり

【鳥瞰ちようかん】

鳥になつたつもりで、高所から全体を見渡すことを鳥瞰といいます。心の高さを上げることで、それまで見えなかった事柄が見えてくると、出会いの意味も理解できるようになります

「頭謗法抄」より  
日蓮聖人御遺文

覚書 六月

十三日 行学会 境内清掃  
十八日 三大尊神大祭（三密を避けて実施）

帯刑教誨等は、新型コロナウイルスのため中止

一 休み

●「日蓮宗信行読本」より（拾い読み）  
第八章 明るく楽しく暮らすために

3、「拝まれる人より拝む人に」

あるラジオ番組の中で、アフリカのマサイ族の人は腰に水を入れたひょうたんをくくりつけて狩りを行っている話をしていました。その部族には「水が欲しい」という言葉がなく、喉に手を当ててこすると、相手の人はひょうたんを渡し水を飲ましてくるのだそうです。何処でも初対面の誰に対してもそうするそうです。これは自分以外の人々でも大切にされる心の現れと考えられませんか。

と奉仕に感

☆☆☆☆  
☆布薩会と婦人会様 法会等の諸準備ご苦労様です

法華経名句 私撰

（如来寿量品第十六）その1

一心欲見佛

不自惜身命

松本慈恵師の解説参照

一心に仏を拝見したいと望み、自らの命をも惜しみません。

法華経が説かれて、すでに時は流れ世はまさに末法。その末法においても釈尊を見ることが出来る。しかし、その為には命を捨てるほどの覚悟がいる。

お釈迦様の教えによりますと、出会う人ごとに「この人も仏様と同じ仏身を持たれている仏子」と意識して見続けることの大事を論じています。  
自分の周りに尊いものを見つけていくことこそ、自分自身も本来尊いものであることが浮かび上がってくるのです。誰の目にも見える尊いものだけを敬うのではなく、全ての人の中にある尊いものを見出す心掛けが必要なのです。そのことが、自分の中に備わっている尊いものに気付くことになる



参照。引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮宗のお経」
- ※「法華経名句辞典」松本慈恵
- ※日蓮宗信行読本
- ※日蓮宗新聞 その他

編集後記

◆コロナウイルスは、北海道に始めて◆しかし、人の往来が増えるに従って第三波の可能性が残る◆心したい◆医療従事者等へのあなまじき言動の報道に接すると、なんととも言えない悲しさや憤りを覚えるのは私だけでは無いと思う◆来月は新暦のお盆◆暑さも本格的に心身共にがんばりましょう◆

◆山崎記◆